

東京農業大学 第25回 食と農と環境を考える 世界学生サミット (ISS)

Theme

地域活性化のその先へ ~境界を越えた社会的共生~

2026年6月30日~7月3日

世田谷キャンパス 国際センター2階榎本ホール

日程

- 6月30日(火) 9:00-12:00
開会式
- 7月1日(水) 9:00-16:10
セッション別発表会
- 7月2日(木) 9:00-14:30
セッション別発表会
- 7月3日(金) 10:40-12:10
総合討論
- 7月3日(金) 15:00-16:00
閉会式



ライブ
配信あり



ISSとは?

使用言語：英語

食と農と環境を感じあげる国際学生サミット (ISS) は、世界各国・地域の本学協定校代表学生と本学学生が、食・農・環境の諸課題について議論を交わす学生主体の国際会議である。参加者は共に深刻な課題に取り組み、学生ならではの具体的なアクションや成果を共有する。



23カ国・地域



26大学



発表者 27名
(うち、東京農大より2名)



座長 14名
(全員農大生)

ISS 公式ホームページ

<https://www.isstokyonodai.net>



開会式プログラム

9:00~ 開会挨拶

- 東京農業大学 学長
江口文陽 教授
- フィリピン大学ロスバニオス校 学長
ホセ Jr. カマチョ 教授
- 東京農業大学グローバル連携センター長
宮浦理恵 教授

9:40~ 基調講演

- フランス ISARA研究部長
アレクサンダー・ヴェーゼル 教授

10:40~ 第25回ISS記念式典

- 東京農業大学ISS/ISF アドバイザー 及びISS OG
下口 ニナ 教授

11:40~ 閉会挨拶

- 東京農業大学 副学長
三原 真智人 教授

基調講演者

アレクサンダー・ヴェーゼル 教授
(フランス ISARA研究部長)



アレクサンダー・ヴェーゼル教授 (Prof. Dr. Alexander WEZEL) は、アグロエコロジー (農生態学) 分野における世界的なリーダーである。20年以上にわたり、「科学」「実践」「社会的運動」を連携させた学問領域の発展を牽引し、EUの政策の学術的基盤にアグロエコロジーを据えてきた。現在はフランスのISARAの教授として、ヨーロッパ内外におけるアグロエコロジーへの移行 (トランジション) を推進する最前線に立ち続けている。今回が初の来日となり、次世代を担う若者たちに向けて未来へのビジョンを語る。

基調講演

【テーマ】加速するアグロエコロジー：
農と食の持続可能な未来へ向けた変革への道筋

現在の食料・農業システムは、ますます深刻化する多くの課題に直面している。従来のシステムがこれまでの機能を果たせなくなっている今、代替となる新たな道筋が必要になっている。その鍵となる解決策として浮上しているのが「アグロエコロジー (農生態学)」である。数十年前から提唱されてきたこのアプローチは、現在、世界的な規模で大きな機運を迎えている。

本講演では、アグロエコロジーが科学、実践、そして社会的運動の各次元においてどのように進化してきたか、その歴史的視点を提供するとともに、現代におけるグローバルな広がりや浮き彫りになる。さらに、農業の生産性、社会経済構造、食料安全保障そして地域社会のウェルビーイング (豊かな暮らし) に与える影響を評価する。世界各地のケーススタディを通じて、真に持続可能な食料システムへの不可欠な移行 (トランジション) を、アグロエコロジーがどのように牽引できるかについて議論を展開する。

